



社会医療法人愛仁会 明石医療センター 消化器内科

豊富で多彩な症例を経験し、多くの若手医師が巣立っています

病院紹介

2001年に国立明石病院から移管された382床の東播磨の基幹病院で、地域支援病院として、地域医療、救急医療、低侵襲医療、周産期医療を重点的に診療しています。また、臨床研修指定病院として教育にも力を入れています。



診療科の特色

24時間365日体制で緊急対応をし、年間1000件以上の緊急内視鏡検査、処置を行っています。

また先進的な診療にも積極的に取り組んでいます。

ルーチンの上下部内視鏡検査は勿論のこと、内視鏡的止血術やEMR/ESD等消化管領域の手法からEUS, ERCPといった胆膵領域手法まで幅広く経験可能です。また地域の中核病院として化学療法や炎症性腸疾患の診療も



行っています。どれも専攻医が主体となって取り組みますが、神戸大学で研鑽を積んだ上級医の先生方のバックアップが手厚く、外来、入院を問わず気軽に相談することができ、丁寧に指導して貰えます。夜間休日緊急処置は365日24時間対応していますが、若手医師も多く、オンコールは月5回前後と過度な負担にならないように配慮されています。院内の雰囲気も良く、育休などの休暇も取りやすい環境です。是非、明石医療センターと一緒に研鑽を積みましょう。待ってます！

(専攻医 橋本宏之)

実績 (2023年1月～12月)

EGD 総数	6152件	CS 総数	3149件
食道・胃ESD	82件	ポリペク・EMR	1100件
上部止血術	75件	大腸ESD	60件
食道静脈瘤治療	17件	下部止血術	120件
胃瘻造設	37件		
		ERCP 関連	478件
小腸カプセル	26件	EUS	339件
バルーン内視鏡	23件	EUS-FNA	50件

専攻医は指導医とのチーム制で3カ月ごとローテーションしています。

上級医から

最新のガイドラインや神戸大学主催の研究会、講演会などで常にupdateを行うとともにそれぞれの患者様に一番合った治療を行うことを目指し、内視鏡検査による診断はもちろん、内視鏡的粘膜下層剥離術や胆膵内視鏡による治療、炎症性腸疾患の診療、悪性疾患の化学療法や肝疾患の診療など幅広く消化器診療を行っております。中規模病院のメリットである、良性疾患から悪性疾患まで幅広く経験できること、内視鏡診療に携わる機会が多いこと、救急疾患に遭遇する機会が多いこと、先輩医師の目が届きやすいこと、各診療科の垣根も低くなんでも相談しやすいことなどの利点を生かして若手の教育にも力を入れています。学会発表なども積極的にに行い、消化器内科専攻医として十分な経験、知識が得られる事を念頭に研修を行っております。

(部長 門卓生)